

令和5年度定時総会 令和5年6月3日(土) 於：ホテルグリーンタワー幕張

心も新たに、阿佐新体制がスタート!!



INDEX

令和5年度定時総会・懇親会	1
新役員あいさつ	2~3
新春の集い・賀詞交歓会	3
令和4年度第2回経営研修会	4~5
春の宴 伊豆大島日帰り旅行	5
夕食例会報告	5~8
スケジュール・編集後記	8

第3号議案「令和4年度活動方針、活動計画案」を阿佐次期会長が、第4号議案「予算案」と、第5号議案「役員、委員会構成案」を木下次期幹事長がそれぞれ提案しました。

第6号議案「会則等の一部変更案」(副会長が次期会長になる規約を廃止)もされ、満場一致で採択されました。

その後、臼井日出男先生を囲み記念撮影を行い、隣室において第二部の懇親会を開催し、お開きとなりました。阿佐新会長は2011年に退任されて12年ぶりの再登板で

学び合い、明るく、楽しく、活動しよう!

6月3日(土)ホテルグリーンタワー幕張において、35名の参加を得て、令和5年度定時総会が開催されました。

今年度の総会は事務局と総務委員会とで企画運営し、司会は総務委員の吉田光一さんがつとめました。

第一部では、土屋会長の挨拶のあと議長を選出し、議長に永田洋子さん、議事録署名人に森本哲郎さんが選任され議事に入りました。

第1号議案「令和4年度の活動報告」と、第2号議案「会計報告並びに監査報告」を木村幹事長が報告しました。



臼井正一議員にお祝いの花束

す。コロナも明けて従来の活動に戻りつつある中、会員の高齢化や会員数の減少など問題も山積みです。月星会の歴史、在り方を最も深く知る阿佐会長がこの危機に一肌脱いで会長の重責を受けて下さいました。全会員一致団結し、この楽しくも学びのある貴重な会「月星会」を盛り上げていきましょう!

総務委員長 木下 英之



令和5年度の月星会新役員



小川県議に当選祝い花束



令和5年度会長 挨拶

阿佐幸雄

さあ！会員増加への反転攻勢をしよう！

月星会は日出男氏を支持する「異業種の経営者が集う会」ですが、会員同志のさまざまな経験や知識を交流することで、会員企業が強い経営体質を作ることを目指しています。

会員一人ひとりには月星会という辞書のそれぞれの1頁を担っています。しかし、2020年以降コロナ禍により親密な懇親の場が少なくなり、会員同士がふれあう機会の減少は退会者の増加という結果を残しています。

会員数の減少は、経験や知識のページ数の減少という結果を生んでしまいます。マスクなしも多くなった今こそ、会員増加の反転攻勢へ移らなければなりません。

月星会は「知識や経験を教え合い、成功談や失敗談も話せる仲間がいる良い会」です。

会員一人ひとりが事業から学んだ多くの経験を会員の方々にその経験の1頁を開いて欲しいと思います。

会員同士が事業内容だけでなく人柄までも知り合うことで、仲良くなりお互いの信頼関係が増し、経済交流にもつながっていきます。仲の良い仲間が増えることは人生にとっても大変素晴らしいことです。

また月星会の利点は、経営者としての資質の向上のために講師例会や経営研修会で学ぶ機会を用意していることです。学ぶ内容は、経営戦略や営業戦略などの経営研修だけでなく、夕食例会など少人数で行なう場で、ごく常識的なことも学ぶこともできます。

身近な方を月星会にお誘いください。

今回、会則通りの会長選考ができず、急きょ12年振りの再登板となりました。老力を振り絞って努めますので、会員皆さまのご協力をお願いいたします。

幹事長 挨拶

木下英之



幹事長職は、故穴倉龍子さんが会長を務められた時以来です。

その当時は、幹事長が果たす役割について良くわからないまま任期が終わってしまい、お龍さんには申し訳ない事をしたなあと思っています。

その後会長をさせていただいた時は、内藤幹事長（現広報委員長）の存在が、大変心強くありがたかったです。

そして今期、月星会に導いてくださった恩人である阿

佐会長のもと幹事長職を拝命しました。

役員は会長方針に沿って、それぞれの特色を活かしながらそれを具現化していきます。幹事長は会長の影となり、足並みを揃えながら会員サービスにつとめていきたいと思っています。

具体的には、以下の3点に注力します。

①**役員会を盛り上げる**……毎月の役員会は幹事長が進行をつとめます。会が元気になるためには、まずは役員が元気に一丸となって進むことから考えます。

②**会情報の発信**……日常の中で月星会を思い出してもらえる。たまには参加しようかな？と思ってもらえるよう、LINEオフィシャルアカウントやSNSで発信します。

③**退会者を防ぐ**……会員の減少は差し迫った危機です。人がいなければ会も回りません。会全体にきめ細やかに気配りをし、退会者が出ない運営を心がけます。

今期の役員も皆さん大変忙しい中で役を受けて下さっています。幹事長として各委員長、委員会のフォローをしながら、阿佐会長を盛り立ててまいりますので、引き続きご指導のほどお願いいたします。

委員長 挨拶

広報委員会 内藤 太



広報委員長を拝命させて頂きました内藤です。よろしくお願いいたします。

今期の会長は会員同士の交流を深める事を目指しており、それを伝えられる広報紙を心掛けます。

とても低い目標ですが…、皆様の活動を広くお伝えする会報の発行を遅延しない様精一杯頑張ります。

皆様ご協力の程お願いいたします m(__)m

例会委員会 林 威樹



去る6月3日の定時総会で委員長を拝命した林です。

過去に例会委員長を経験しておりますので1年間、手探りながら会員の皆様に喜んで頂ける例会づくりに取組みますので何卒宜しく願い申し上げます。

本年度の例会委員会は「会員ひとり一人の人生経験を共通認識にするための例会開催」をスローガンに「会員の交流と研修を兼ねた場の設営」を常に念頭に置き充実した例会となるよう企画して参ります。

例会は3か月クール開催を基本とし、前半2回の例会は講師を呼ばずテーマを決めて会員同士討議を行い、最後に討議内容を報告し合い、参加者の意見を聴き経営や日々の生活のヒントを持ち帰れるような、内容の例会

にしたいと考えます。

3か月クールの最後は外部講師の例会とします。講師の選定はなるべく地元有缘のある講師を選定し、身近な講話をして頂き「為になる話が聴けた」と出席者に感じて貰える例会にしたいと考えます。

例会は基本的には夕食例会としますが、以前開催していた朝食例会も1~2回織り交ぜて開催出来るよう検討いたします。

以上1年間、皆様のご意見をお伺いしながら充実した例会が開催出来るよう取り組みます。ご期待下さい!!

研修委員会 阪本美香



こんにちは、研修委員長を仰せつかりました阪本美香です。

研修委員会は、年2回の参加無料の研修会を実施する予定になっております。

月星会は事業主の方々が母体になっていますが、形や姿を変えながら間接的に会員ひとりひとりに寄り添っていただける企画を

今年もまた打ち出していただけたいと思っております。

会社の成長が頭打ちに…

危機管理はいつどのように対策したらいいんだろう…

そんな時にひとりで悩むより、自分だけの答え探しやブラッシュアップの機会を目的として、より多くの会員及び従業員、友人の方に意識して参加してもらえたら嬉しく思います。

一年間よろしくお願い致します。

親睦委員会 星野泰広



昨年から引き続き、任命された親睦委員会の委員長として、会員の皆様が満足し、一体感を育む活動を展開することに全力を注ぎます。

そのために、楽しく、かつ意義ある旅行やイベントの企画を進めてまいります。皆様の積極的な参加や意見もお待ちしております。

皆様の絆を深め、一緒に素晴らしい思い出を創造しましょう。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

新春のつどい・賀詞交歓会 令和5年1月28日(土)

於：ホテルグリーンタワー幕張



ホテルグリーンタワー幕張にて、コロナもやれやれ下火かな?と期待を込めて参加者36名を頂き、開宴いたしました。

1月お誕生日の皆様にも今年もお健やかに過ごして下さいと花束のプレゼント。

今回のゲストとはびっきりの歌唱力のある榎木美優さん。和やかに食事もお楽しみ、ほろ酔い気分で酩酊の中、榎木美優さんと伊藤公俊会員のデュエットでまた盛り上がり(大喝采!)今年一年も元気に楽しく過ごせます様、また来年も新春に集いましょうと祈りを込めて終宴いたしました。

ご参加の皆様、ありがとうございました。

親睦副委員長 竹口満代



「ほめ達」が人と組織を活性化する！



【講師】一般社団法人日本ほめる達人協会 西村貴好理事長

「人には、ほめて成長するタイプと叱って伸びるタイプがある」と言われる。いや、言われてきた。しかし、この伝聞は必ずしも正しいとは言えないようだ。スポーツの世界、たとえば高校や大学などのクラブ活動では、厳しく叱って育てる考え方は大きく後退しつつある。顧問や先輩部員が体罰でもすれば警察沙汰になってしまうし、会社でも手を上げたりするとパワハラで訴えられることも普通にある。

体罰問題ばかりではない。厳しく叱って育てる考え方そのものが指導の効果がなく、逆にやる気を失う結果になりやすいことがわかってきた。

そこで研修会を企画する総務委員会は、実際のところどうなのか、「ほめて育てる」専門家であり、第一人者の話を聞こうと企画を立てたのである。

3月11日に行われた研修会。講師の先生は、一般社団法人



日本ほめる達人協会の設立者であり(2011年)、理事長でもある西村貴好先生である。

以下、当日の講演内容をできるだけ西村先生の言葉を再現しながら、大事なポイントのみ要約レポートする。

講演内容のピックアップ・レポート

はじめに私たち「ほめ達協会」のミッションについてお伝えします。すばり、次の一行です

〈誰もが尊敬しあえる世界にする〉

企業においては部下が上司を尊敬し、上司が部下を尊敬する。そして、企業は顧客や社会、地域を尊敬し、そして地域、顧客、社会がその企業を尊敬する。

家庭においては、子供が親を尊敬し、親が子を尊敬する。そして、自分自身をも尊敬しリスペクトできる。そん

な世の中、社会を作っていく。これが私たち協会のミッションです。

もう一つお伝えしておくことがあります。実は私、もともとは全く逆の人間、「ダメ出しの達人」でした。だからこそ皆さんにお伝えできるのです。放っておいてもほめられる人だったら逆に、みなさんに伝えることが出来なかったかもしれません。

私は大阪の商売人の3代目です。うちの祖父が15歳の時に石川県の田舎、本当に貧乏な村から大阪にやってきて、銭湯で下足番、丁稚奉公から始めました。仕事を頑張ったら番頭さんになり、銭湯を一軒任されました。やがて祖父は資金を借りて自分の銭湯を一軒持ちました。それを増やして、マンション業をやり、ホテルをやるという、一代で商売を立ち上げた人でした。

普通の人が一番気づくところを10も20も気づく。「結果の出ない努力は努力とはいわん!」と、そんな性格。私もそれをみごとに受け継ぎました。

あら探して失敗、ほめ探して成功

私が最初に興した会社は、飲食店などサービス業の覆面調査会社です。経営者が語る言葉は立派だけれども現場はどうか、覆面で調査する仕事です。

普通はあら探して、ダメ出しをします。その方が依頼者のためになると思って、出来ていないところを全部証拠付きで報告しました。

結論から言いますと、改善は進みませんでした。指摘したところは直します。しかし、「コッチを直せば、コッチが出てくる」でした。モグラたたきです。

それで考えました。仕事の中身を180度変えて「ほめるところ探しの調査」に変えたのです。

「〇〇さんのこの笑顔が良かった」「子どもさんがすっかりお店のファンになっています」と。

そして、付け加えます。「あと惜しいのは……」と、直すべき点を報告します。すると、20個良いところを見つけてくると、100個は改善すべき点を見つける。100個見つかった改善点のうち、お客様にとって印象が大

大きく変わる1つか2つだけを伝えるようにしました。残りの98個は言わずにおいて。

すると2回目、3回目の調査に行ってみると、「次これ直してほしいな」と思いながら報告していなかったことも直っていました。

ダメ出しされるとダメ出しされたところだけ直す。ほめて認めてアドバイスしてあげると、ほめられていないところまで、自分たちで探してきて良くしようとしている。それは自主的であり、工夫が入って継続するとはっきりわかりました。そのやり方を様々な業種業態で展開をしていったのです。

ほめちぎる自動車教習所

今、全国に17の支部がありますが、よくメディアに出る支部があります。三重県伊勢市にある支部で、話題になったのは南部自動車教習所です。看板に「ほめちぎる教習所」と書いてあります。今どきの若い人は、怒られると来なくなる。ならば「ほめてみよう」というわけで「ほめ達」の出番となり、みごとに成功しました。

ある時、テレビのワイドショーでコメンテーターの方がこうおっしゃいました。「ほめて、危険なドライバーが増えたらどうするの?」と。心配ですよね。

ところが、実際の数字は心配無用でした。「ほめ達」を取り入れてから、生徒数が増え、合格率が上がりました。そして何より、卒業生の事故率が半減したのです。

教習はほめてばかりかというところではなく、安全に関することはしっかり注意します。たとえば「ちょっとストップ、1回降りて確認しようか」と。

順番が大事です。まず安心させる。「この人は私を傷つけない」という関係性を作るのです。運転席に座ってシートベルトをしたら「おお!すごいね!」とすかさずほめる。ここからです。いきなり「ガンガン!」と言われると、専門用語で「知覚的防御」が働きます。「ああ、この人は私を傷つける人だ!」と。

脳は心が傷つけられるのが怖いのでシャッターが下りるのです。だから聞いているようで、入っていかない。伝えているけど伝わっていない。「心のコップが下を向いている状態」ですから。だからまず、相手の心のコップを上に向けるといってひと手間が必要なのです。

ひと手間の準備を用意しておく

ですからリーダー、指導者は、「おそらくこんな失敗するんじゃないかな?」と相手の失敗をあらかじめ予想して、それに対する準備のような「浮き輪言葉」を用意しておくのです。

夏のプールの監視台には必ず救命用の浮き輪が用意されています。誰かがドボンと入って溺れそうになったら、その浮き輪を投げて、そしてつかまらせる。この浮き輪と同じことを部下や後輩のために用意するのです。



例えば自分の過去の失敗談。
「俺ももっとすごいことやったよ」
「え!社長もそんなことあったんですか?」
「先輩にもそんな時あったんですか?」
「あった、あった、いい経験だね。経験を活かしてさらに成長していこうね」

といった風に浮き輪を投げる。

このようにひと手間かけて言葉を用意しておくことはとても大事なことです。

「愛ある人はひと手間多い」のです。ひと手間かけて準備をする。ひと手間かけて、相手に関心を持つ。ひと手間かけて、相手に言葉をかけていく、という具合です。

私が日頃、自分に言い聞かせている言葉があります。

「準備をしないということは、何もしないのではなく、失敗をする準備を着々と進めていることになる」

皆さんも、今日この研修会に参加するというひと手間もふた手間もかけて準備をされています。「皆さんの周りの人とのコミュニケーション作り」というものの準備をされているのだと思っています。

ほめる=価値を発見して伝えること

「ほめる」とは……おだてたり、おべんちゃらを言うことではありません。ほめるとは「価値を発見して伝える」ことです。

「何の価値を」というと「人」「モノ」「出来事」です。「人」というのは、皆さんが今考えている「ほめる」という概念に一番近い存在です。人の良いところを見つけて、それを相手に伝える。「ほめ達」になると一見マイナス、欠点に思える部分もプラスに変換していきます。

二つ目の「モノ」。モノの価値を発見して伝える。これはまさに、仕事、ビジネスで使われる能力です。皆さんが取り扱われている商品やサービスにほめ達ならではの独自の切り口を「スパーン!」と切って、その切り口をお客様あるいはご利用者様に伝える人になるのです。

最後の「出来事」、これはピンチをもチャンスに変換できる能力です。

(要約記事：広報委員会 奥平)

バスと高速ジェットで 伊豆大島日帰り旅行

3月21日(火・祝日)千葉駅NTT前を7時に桜木観光のバスで館山港(渚の駅たてやま)に向かいました。

会長と星野親睦委員長のご挨拶の後、会長の乾杯の発声で車内は朝から盛り上がったスタートになりました。

館山港から大島港までは高速ジェット船で移動しました。船内は非常に広く250人以上乗船可能とのことでした。大きな揺れもなく快適に綺麗な海を眺めながら約1時間で大島港へと入港いたしました。

大島港からは大島観光のバスで大島公園椿園に移動いたしました。

園内は大変敷地が広くて椿の種類別で9ゾーンに分けられていて見物客も想像以上に多く感じました。色々な種類の美しい椿を見ることができました。その後再びバスに乗って昼食の大島観光ホテルに向かいました。



乾杯を交わした後美味しい料理を堪能いたしました。

昼食後、バスで大島の絶景スポットを巡りながら、あの噴火で有名な三原山に到着しました。三原山の最後の噴火が1986年(昭和61年)に島全体に避難命令が発令される程の大噴火とのことでした。噴火口まで行ける遊歩道がありますが、三原山を背景に写真を撮ったりお土産屋さんを訪れたり皆さん楽しそうにされていました。

大島での行程を終え再び高速ジェット船に乗り桜木観光のバスに乗車して無事千葉まで帰ってきました。

日帰りバス旅行なので時間が限られている中、素晴らしい企画で楽しい春の宴親睦バス旅行となりました。関係者の方々本当に有難うございました。感謝いたします。

親睦委員会 長谷川 淳

例会委員会報告

11月度夕食例会 令和4年11月24日(木) 於: 鮪割烹みどり

11月度の卓話は、産方さんからご紹介を受けたドローン操縦士インストラクターの黒木琢磨氏をお招きし、「ドローンの歴史と操縦」というテーマでご講演いただきました。

黒木さんは、日本メイクアップ技術検定協会とJapan Makeup Artist Networkのそれぞれ一級を取得しており、メイクの世界でも一流の方であるにも関わらず、お父様が東京

ドローンスクール事業を立ち上げたことをきっかけにドローン操縦士回転翼3級とインストラクターの資格を取得し、メイクアップの仕事の傍ら、ドローンスクールお台場でも教官の仕事をしています。

実際に、ドローンも部屋の中で飛ばしていただき、多くの方が今後のドローンの可能性や操作への興味を持っていただいたと思います。



11月誕生日の藤原相談役

忘年会気分で漫才とマジックを楽しむ

12月度の夕食例会は、昨年に引き続き、卓話ではなく、3組の芸人さんをお呼びして、親睦中心の例会にしました。

芸人さんは、今年もステージショーと創作イタリアンのお店「Will Bee」さんからご紹介いただき、面白かった芸人さんには500円相当のチップを渡してランキングを決めました。

出演芸人は、昨年は岡田桜井の名前で出演したしゃべくり漫才コンビの「ハナフダ」、昨年も出演したフリーランスマジシャンのHANABI、初登場の正統派漫才コンビ「ジャガモンド」で、昨年同様、それぞれがそれぞれなりに面白かったので、ランキングもほぼ同じ結果になってしまいました。

なお、今回も好評を博したのですが、芸人をご紹介いただいたWill Beeさんは12月末で閉店になってしまいましたので、来年以降は違う形で企画していただければと思います。



2月度の夕食例会は、会員の船越法律事務所の船越豊先生に、「私の弁護士経歴」というテーマでご講話いただきました。弁護士歴41年の中で携わってきた民事事件や刑事事件について面白おかしくご報告いただきました。会員からも質問が出たり、非常にいい例会だったと思います。



ただ残念ながら、会場の担当者が変わったため、マイクの調子が悪く、非常に聞き取りにくかったので、そこはしっかり改善していきたいと思っています。



2月誕生日の永田会員と竹口会員

霊のお陰です。しかしながら、戦後70有余年を経過し、ご遺族や戦友の方々も高齢化し、人数も減ってきており、また、戦後教育においては、このようなことを教える場もなく、ご英霊の意味さえ知らない世代が多くなってきています。



臼井久美子夫人を筆頭に護國神社のご奉仕をさせていただきますが、我々もご英霊の心を我が心とし、未永い日本の真の平和を願う日本人として次の世代に語り継ぎ、祭祀を続けられる様にしなければなりません。



今回のお話を会員内にも広げていきたいと思っています。
(以上、11月～3月例会報告は小川智之委員長)

3月度の卓話は、臼井日出男先生が総代を務めます千葉縣護國神社の竹中啓悟宮司様をお招きして、「英霊の心を心として」と題して行われました。

千葉縣護國神社の歴史や概要の説明と現在の桜木4丁目に遷座した経緯などをお話いただきました。また、祀られているご英霊のエピソードを交え、ご英霊の御心をお伝えいただきました。

我が国は経済的にも発展し、平和な社会を築いておりますが、これらは貴い命を捧げ平和の礎となられたご英



3月誕生日の 左)木村幹事長と 右)産方相談役

4月度夕食例会 令和5年4月27日(木) 於：鮭割烹みどり

4月度の卓話は、永田洋子会員の紹介で、幕張PLAY株式会社取締役の石井貴美子氏をお招きして、「地域を元気にするクラウドファンディング、活用法、成功事例のご紹介」と題して行いました。



幕張PLAY株式会社は、「つながりで“地域経済”をもっとおもしろくする！」をビジョンに掲げ、PR視点で地域活性化に貢献できるよう取り組んでおります。「PR」の力で企業価値をデザインし、「情報発信力」を活かして未来を切り拓き、「コミュニティ」の力で、新たな価値を生みだし地域ビジネスを加速させております。新しい価値を生み出し続ける地域ベンチャー企業として、千葉県の地域創生に取り組み、持続的な成長・発展を目指して活動しております。

今回は、地域を活性化させるクラウドファンディングの具体的な事例を、パワーポイントを活用してわかりやすく、お話していただきました。会員からも質問が飛び交い、かなり興味を持たれたのではないかと思います。

会員さんもクラファンを活用し、更なる地域活性化を進めてもらいたいものです。

5月度夕食例会 令和5年5月25日(木) 於：鮭割烹みどり

本年度最後の夕食例会は、阿佐幸雄次期会長予定者に「次期月星会運営への抱負」を熱く語ってもらいたいと思い、お願いしました。



個人的に、阿佐さんとは、父親の同級生ということもあり、長い付き合いではありますが、会社設立の経緯や細かいプロフィールは初めて聞きました。これまで、外部講師を中心に卓話をお願いしてきましたが、会員の交流を促進する意味でも会員さんによる卓話の方がいいなと思いました。

また、月星会の歴史についてもお話をいただき、改めて月星会に対する思いが再燃してきました。

新年度は、月星会の設立メンバーである阿佐さんが会長として再登板し、多くの会長経験者が委員長をはじめ役員を務めるなど、オールつきぼし体制(?)で立て直しを図っていきます。阿佐次期会長による新年度を会員全員でしっかり支えていきましょう!

最後に、ご参加いただいた皆様に感謝申し上げ、例会の報告とさせていただきます。1年間、本当にお世話になりました!
(4・5月例会報告は小川智之例会委員長)

6月度夕食例会 令和5年6月22日(木) 於：鮭割烹みどり

新年度1回目の例会はビジター2名を含む20名の方々にご出席頂き開催致しました。

最初に店舗から今日の献立の説明を頂き、30分間は各テーブル毎に自己紹介を兼ねた個々の挨拶をしながらゆっくり夕食をお楽しみ頂き和やかな雰囲気スタートしました。

その後、阿佐新会長の挨拶、臼井日出男先生の挨拶、臼井正一議員の挨拶で例会に入りました。

各テーブル毎に今月のテーマ「自社の企業経営について」に基き活発な自由討議が行われ、最後は各テーブルの代表者による討議内容の発表を行いました。



皆さん時間が経つのも忘れて熱心に討議頂き20時に終了しました。果たして初回で上手くいくか不安もありましたが「会員ひとり一人の人生経験を共通認識にするための例会開催」という本年度のスローガンに沿った例会が開催出来たものと思います。

今後も改善を計りながら有意義な例会を開催したいと考えております。

例会委員会委員長 林 威樹

会員異動	退会	片野 洋子氏 (有) インテリアかたの 川村 博章氏 (株) 東京湾 向後 保雄氏 向後保雄税理士事務所 須藤 憲一氏 (株) 須藤ビル 土屋 文武氏 中央資材 (株) 文元 孝英氏 (有) 文元電気サービス
	社名・役職変更	嶋田 捷秀氏 しまテクノサービス(株) 新社名：(株)しまでん 新役職：会長

8月~10月のスケジュール

8/9(水)	役員会 18時00分開会 鮭割烹みどり
8/24(木)	夕食例会 18時~食事 18時30分開会 鮭割烹みどり 卓話講師 (株)京菜美装 代表取締役 国吉晃甲氏 講演テーマ 地域の為に「一隅を照らす」 参加費 会員3,000円 ビジター 3,500円
9/2(土)	第1回経営研修会 受付17時~開会17時30分 会場 ホテルグリーンタワー幕張 講師 作家・人材育成コンサルタント 黒木安馬氏 講演テーマ 国際線乗務30年で観た「成幸者たちの法則」 講演会無料 懇親会費 会員5,000円 ビジター6,000円
9/13(水)	役員会 18時00分開会 鮭割烹みどり
9/28(木)	夕食例会 18時~食事 18時30分開会 鮭割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター 3,500円
10/11(水)	役員会 18時00分開会 鮭割烹みどり
10/21(土)	研修親睦日帰り旅行 詳細は別途ご案内いたします。

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。

前期より滞っていた会報をようやくお届けすることができました。楽しみにされていた方々に申し訳ない気持ちでいっぱいでした。深くお詫び申し上げます。今期は滞りなく発行できるよう努めますので、よろしく願いいたします。皆様におかれましては、猛暑に負けずご健康に留意され、ご活躍されますよう祈念いたしております。(内藤)

会報をホームページで見られるよ➡

